

Inter BEE 2016 技術展示 メディアプロセッサの新機軸

あらゆる可能性に挑戦する
柔軟な映像処理システム



CS Media Processor 800



- 統合映像制作環境の中核システムとしてモジュール構造アーキテクチャを採用
- 2K/30P から 8K/120P までの幅広いビデオ入出力を一台で実現可能
- 複数の異なるストリームを同時に取り扱い可能な非同期同時制御に対応
- 当社独自のソフトウェア技術により高い安定性、柔軟性、拡張性を実現
- ハードディスクで構成された超広帯域 RAID を内蔵し長尺コンテンツの格納が可能
- 外部機器制御を可能にする MIDI、DMX、シリアルポートの各種制御モジュールを搭載
- 単なる収録や再生のみならず、空間演出装置としての映像生成機能なども対応可能

新しい柔軟性を実現する CS ワークフローデザイナー

CS メディアプロセッサに搭載された CS ワークフローデザイナーは、映像や音声の収録再生のみならず、外部機器との連携動作を可能にする、新しいモジュール設計を採用した画期的なソフトウェアです。



CS メディアプロセッサ

CS ワークフローデザイナー



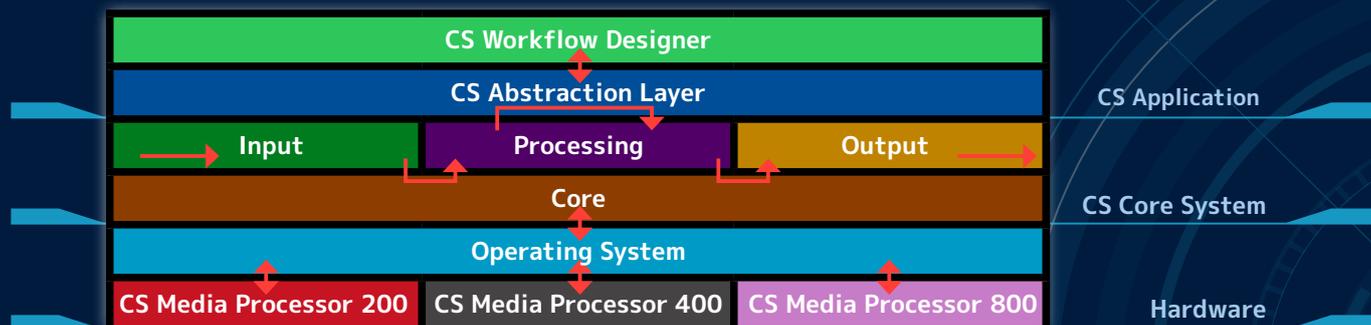
モジュール間は
マウス操作で接続

モジュールカタログからお好みのモジュールをドラッグ & ドロップでワークフローエディターに配置

例えば…
複数チャンネルの音声を特定の映像にエンベデッドしたい場合

複数の音声読み込みモジュールと 1 つの音声ミキサーモジュールを組み合わせ、ミキシングして SDI 出力モジュールに
入力する、といった具合に処理の流れをそのまま表現できるようになっています。

安定した超広帯域性能を実現する CS コアシステム



CSメディアプロセッサの開発は、超高精細映像の入出力を可能にするCSコアシステムの開発から始まりました。CSコアシステムは、超広帯域を安定して実現するための当社独自のソフトウェア技術の結晶です。プラグイン可能なモジュールベースアーキテクチャを採用し、専用機の安定性と汎用機の柔軟性を両立させることに成功しました。安定した超広帯域性能と、複数モジュールの非同期動作を可能にしたCSコアシステムによって、別々のストリームを同時に扱うことを可能にします。映像や音声を非同期に扱うだけでなく、複数の出力を同時に実現できる可能性を持ちます。

CSシリーズ 3つの製品ライン & 複数の選べるパッケージ

	30P	60P	120P	シリーズ名
2K	○	○	○	CS Media Processor 200
4K	○	○	○	CS Media Processor 400
8K	○	○	○	CS Media Processor 800

お客様の機能を自由に選べるモジュールのパッケージ販売を予定



2017年夏、販売開始予定です。今後の展開にぜひご期待ください。

●このカタログの記載内容は、2016年11月現在のものです。 ●ご購入につきましては、最新の仕様・価格・納期をご確認ください。 ●記載されている会社名・製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。 ●記載の仕様・形状等は改良等により予告なしに変更されることがあります。

株式会社 計測技術研究所 ビジュアルウェア事業部

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南2-12-2

TEL 045-948-0215 FAX 045-948-0225

E-mail VWsales@hq.keisoku.co.jp <http://www.keisoku.co.jp/vw/>

2016年11月発行 ●CV-0120-1611